

令和6年度 城南小学校学校経営方針

丹波篠山市立城南小学校

1 丹波篠山市の教育理念

- 一人一人が光り輝き生きがいをめざす
- 子どもが自ら学び、地域とともにある学校づくり
- 学びの機会を充実し、生き生きと活躍できるまちづくり

2 校訓 根よ張れ、幹よ太れ、葉よ繁れ

3 教育目標 輝き つながる 楽しい学校

4 学校経営の基本方針

- 学校施設の安全管理の徹底、校内の環境整備を図り、安全・安心な学校づくりを一層進める。
- いじめを絶対に許さないという方針のもと、児童の内面理解に努め、いじめ等の問題行動の未然防止・早期発見・早期対応を徹底し、保護者との連携を図りながら、解決を図る。
- 教職員一人一人が児童の個性や特性の理解に努め、ふれあいを大切にし、心通い合う学級づくり・学校づくりを進める。
- 一人一人の児童がわかる喜びを実感できるよう、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に努める
- 地域の自然や人とのふれあいや体験的な活動を通して、ふるさと城南を愛する心を育てる。
- 学校業務改善に向け、業務改善委員会の機能充実に努め具体的な取組を行う。

5 めざす児童像

- 丈夫でしなやかな心と体を持つ子(体)
- 美しいものや素晴らしいものに心動かす子(徳)
- なんにでも興味や関心を持つ子(知)

6 めざす学校像

- 子供にとって「今日が楽しい、明日が待たれる学校」
- 地域や保護者にとって「安心して子供を預けられ、誇りに思うことのできる学校」
- 教職員にとって「互いが協力し合い、やりがいのある学校」

7 めざす教師像

- (1) 魅力ある授業を展開する教師
 - ・授業を公開し、児童の実態や学習内容に応じた教材の工夫や効果的な学習形態等の指導方法の工夫・改善を図る教師。
- (2) 教育的課題に取り組む教師
 - ・人権教育・道徳教育・防災教育・キャリア教育・プログラミング教育等の社会の変化に対応した教育課題に取り組む教師。
- (3) 家庭・地域と連携する教師
 - ・子ども自身やホームページや学校だよりを通して、積極的に本校の教育活動を発信し地域に開かれた学校づくりを進め、家庭や地域との信頼関係を確立する。
- (4) 危機管理能力を高める教師
 - ・「報告・連絡・相談」を密にして、迅速・的確な対応で信頼される学校づくりを推進する教師。

8 重点目標

(1) 安全で安心して学べる教育環境づくり

- ・安全管理の徹底と組織活動の充実のもと、安全への意識を高める安全教育を推進する。
- ・校内の整理整頓を行い、落ち着いて学べる環境をつくる。
- ・授業規律、気持ちのよい挨拶、時間の厳守、整理整頓・清掃に向かう姿勢を確立する。
- ・児童の達成感や自己有用感・自己肯定感を高め、学級が安心できる居場所となるよう、一人一人の個性を十分に理解し、それぞれが活躍できる機会をつくる。

(2) 生徒指導における協働体制の確立

- ・児童の小さな変化を敏感に察知し、チームとして、情報交換や連携を密にし温かい人間関係が築けるように支援する。
- ・いじめ等の問題行動には、チームで迅速かつ組織的に対応する体制を構築する。
- ・保護者、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等と連携し、児童生徒の日常生活における変化に気を配り、校内教育相談体制を充実する。

(3) 豊かな人間関係や人権感覚の育成

- ・ユニバーサルデザインの教室・授業づくり等、多様性を尊重した学級づくりを行う。
- ・様々な心身の特性や考え方をもちつ全ての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションを図り、支え合うことができるよう個別の支援計画をもとに支援を行う。
- ・道徳科を中心とした道徳教育を充実させ、道徳性を高める

(4) 言語活動を充実し確かな学力の定着を図る

- ・ゴールが見える授業づくり。「やってみよう」「できた」「もっとしてみたい」を大切にする。
- ・学習習慣や基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
- ・「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」へと導く授業の工夫と実践。
- ・各教科における ICT を活用した学習活動の工夫と実践

(5) 地域とともにある学校の推進

- ・学校運営協議会を核として、学校、家庭、地域が連携を密にし、社会全体で子どもたちの「生きる力」を育む環境づくりに努める。
- ・子ども自身やホームページや学校だよりを通して、積極的に本校の教育活動を発信し地域に開かれた学校づくりを進める。
- ・地域人材の積極的な活用を図り、学校・家庭・地域が共に学び合う学習機会を作る。

(6) 働きやすい職場づくり

- ・ワーク・ライフ・バランスに努め、教職員が生き生きと働き、そのことが学校教育のつながるよう
に全教職員の共通意識で学校運営に努める。
- ・業務改善の視点でこれまでの活動を見直し、「何ができるか」を考え、実践する。